

略歴 – テレシュ・ラムジュガナット教授

1993年にナタール大学で化学工学の学士号(BScEng)を取得し、2001年には同大学で工学博士号(化学工学)を取得。

2025年4月1日より、ステレンボッシュ大学(SU)の新たな学長に就任。2021年1月からSUの副学長(教学担当)を務め、クワズールー・ナタール大学(UKZN)にて、2017年3月から2020年12月まで副学長(研究担当)、2013年3月から2017年2月まで副学長補佐(イノベーション・事業化・起業担当)を歴任。また、2007年9月から2018年12月まで、UKZNにて「フッ素プロセス工学および分離技術」に関する南アフリカ研究議長(DST/NRF SARCHI)を務た。2004年1月にはわずか31歳でUKZNの化学工学教授に任命されている。

ラムジュガナット教授とその研究チームは、南アフリカ国内外の化学産業と密接に連携し、多数の契約や研究プロジェクトを実施。ラムジュガナット教授は複数の企業の取締役を務め、世界各国の組織に対する研究・イノベーションのコンサルタントとして活躍した。起業家としても活動し、大学での研究から派生したスタートアップ企業を運営した経験も有る。さらに、海外の大学や産業界との国際的な連携も数多く築いてきた。

これまでに、査読付き学術論文を390本以上、国内外の学会発表論文を350本以上発表。数多くのコンサルティングおよび技術レポートの執筆にも携わっている。また、書籍の章も10編以上執筆し、特許も7件(出願中または取得済)を保有。これまでに90人以上の修士課程学生、50人以上の博士課程学生を指導し、さらに22名以上のポスドク研究員の指導・共同指導を行っている。

その卓越した功績により、以下を含む数多くの賞と栄誉を受賞しています: 2005年: 南アフリカ国立研究財団(NRF)会長賞、2006年・2010年: 南アフリカ科学技術フォーラム(NSTF)賞、2010年: UKZN副学長研究賞、2012年: ダーバン工科大学 名誉教授、2012年: 南アフリカ科学アカデミー会員、2013年: 南アフリカ工学アカデミーフェロー、2013年: 南アフリカ化学工学会 金賞およびイノベーション賞(チーム受賞)、2013年: トムソン・ロイター社による被引用数の多い研究者としての認定、2016年: アフリカ科学アカデミーフェロー、2017年: UKZNフェロー、2020年: 南アフリカ大学協会より高等教育における起業家育成分野で副学長賞を受賞。